

平成22年第1回定例会

一般質問

～ 通告書順 ～

日付	順 番	議 員 名	党 名
3 月 16 日	1	佐藤 弘信	無 所 属
	2	岡部 政一	無 所 属
	3	高木 節男	無 所 属
	4	佐川 勇司	無 所 属
	5	近内 光英	無 所 属
	6	岡部 淳一	日本共産党
	7	佐藤 一夫	無 所 属

古殿町議会

順序	質問者	質問事項	要 旨
1	1 番 佐藤 弘信	1. 古殿町第 6 次振興計画の策定について (答弁者：町 長)	(1) 平成 13 年に策定された第 5 次振興計画をどのような評価をし、その結果を今回の第 6 次振興計画にどのように反映したのか。 (2) 第 6 次振興計画を策定するに当たり、どのような手法を講じたのか。 (3) 基本理念の「緑と人が響きあうぬくもりのある・ふるどの」は、第 5 次と同じである。20 年にわたり同じ理念を掲げるがどのような意義を持つのか。 (4) 「環境保全に貢献する安全安心な町」をキャッチフレーズに掲げているが、環境保全に貢献とは具体的にどういうことを描いているのか。 (5) 県でも福島県総合計画「いきいきふくしま創造プラン」を策定し、今年からスタートします。「ひとがほほえみ、地域が輝く“ほっとする、ふくしま”」を基本目標に掲げていますが、その福島県総合計画をどのように考慮し、町の第 6 次計画に生かされている部分はあるのか。 (6) 第 6 次計画に基づき事業を実施していく中で、行政評価システム構築「P・D・C・A」の言葉が使われるが、施策を計画し、それを実施する。その実施した内容を妥当性があるか検討し、その上で改善を行い良い方向に見直しを図っていくべきと思うが、どのように行うのか。 (7) 住民との協働のまちづくりを掲げている中では、この第 6 次振興計画を町民の皆さんに周知しなければならないと思う。どのような方法で周知するのか。
2	4 番 岡部 政一	1. 住み良い町づくりのインフラ整備について (答弁者：町 長)	(1) 目的地への所要時間短縮のため、主要道路等の改良整備とアクセス道路の開設を検討すべきではないか。 (2) 中山間整備事業ふるどの東地区でのインフラの整備は打ち切りになるのか。 (3) 2011 年 7 月 24 日からの地上デジタル放送に向けての環境整備の対応はどのようにになっているのか。 (4) 町民温水プールと併用したエコボイラーを利用した町民温泉施設を造るべきと考えるがどうか。 (5) 22 年度予算の中でのインフラ整備は、どのようなビジョンで組まれているのか。
3	3 番 高木 節男	1. 高齢者の緊急通報システムと安否確認体制について (答弁者：町 長)	(1) 一人暮らしの世帯、夫婦のみの高齢者世帯の数と割合は (2) 高齢者の緊急通報システムや要支援者などの災害時の避難支援対策などの現状は。 (3) 高齢者や独居老人の安否確認などのシステムが現在ど

順序	質問者	質問事項	要 旨
3	3番 高木 節男		<p>のようになっているのか。</p> <p>(4) 光ケーブル網の整備に伴い安否確認システムの電子化等は検討されているのか。</p> <p>(5) 高齢者に対する地域での支援体制などの取り組みと今後の対応策などは、検討されているのか。</p>
		<p>2. 公共交通について</p> <p>(答弁者：町 長)</p>	<p>(1) わが町の定期路線バスの利用状況は。</p> <p>(2) 定期路線バスが町民生活を支える足としての機能をどのように判断しているのか。</p> <p>(3) 定期路線バスに対する高校通学などに対して町民からの要望はあるか。</p> <p>(4) 町内循環型の福祉バスの利用状況と町民からの要望はあるのか。</p> <p>(5) 定期路線バス利用による統合小学校への通学の基本的考え方は。</p> <p>(6) スクールバス運行についての町民の要望はどのようなものがあるのか。</p> <p>(7) 総合的な公共交通の検討が町づくりの柱として検討されているのか。</p>
4	2番 佐川 勇司	<p>1. 統合小に向けた取り組みについて</p> <p>(答弁者：町 長)</p>	<p>(1) 地産地消の拡大につながるが、安全安心な地元ふるどの米完全利用の学校給食について、その後の進展はどうか。</p> <p>(2) 小学生児童の放課後の生活を守る取り組み、学童保育の具体的取り組みはどうか。</p>
		<p>2. 経済・雇用対策について</p> <p>(答弁者：町 長)</p>	<p>(1) 森林資源を活かした経済・雇用の創出、町の実情を踏まえた事業の、今後の取り組みは。</p> <p>(2) 森林の環境整備と資源を活用した新エネルギーの今後の取り組みは。</p> <p>(3) 「地産地消」と同じく「地材地建」の、今後の取り組みは。</p> <p>(4) 特産品開発や食産業の創出にもつなげる地場産業の育成助成《地域づくり総合支援事業》とは、どんな支援事業なのか。また、この事業をどう活用していくのか。</p>

順序	質問者	質問事項	要 旨
5	1 2 番 近内 光英	1. 公共工事の入札及び契約の適正化について (答弁者：町 長)	(1) 今年度発注された、流鏑馬用馬飼育厩舎建築工事の発注経過について。 (2) 継続的に整備されているゴミステーションの発注経過と設計基準について。
6	8 番 岡部 淳一	1. 振興計画の評価と主要事業実施に向けた町の姿勢と考え方 (答弁者：町 長)	(1) 第5次振興計画は、基本理念、5つの目標に照らしてどのように進んできたのか、町長の認識は。 (2) これまでの主要事業実施は、振興計画に照らして十分達成されたと考えているか。 (3) これまでの林業振興策によって、町内の林業はどう変わってきたのか、また、今後、収益を含め産業としてどうあるべきと考えているのか。 (4) 町の農業振興は、この10年間の取り組みで、どう推移したと捉えているのか。また、今年度より実施される所得補償とは具体的にどのようなものなのか。 (5) 実施される今年度施策は、住民要求に根差した事業であると思うが、今年度の町政運営上、基本とした考え方は何か。
		2. 自営業者の仕事確保と町施策の関連について (答弁者：町 長)	(1) 21年度に入札以外の方法で発注している工事件数と金額、発注の方法は。 (2) 入札工事の継続や関連において、随意契約はあるのか、件数は。どんな場合に随意となるのか。 (3) 高齢者住宅改修と町産材利用住宅建築支援事業の実績と、町内業者の関わりについては、どんな分析をしているのか。 (4) 合併処理浄化槽設置事業における町内業者と町外業者の比率、町内業者上乗せ補助の効果は、またこの事業の継続はどうなるのか。 (5) ゴミステーションのように同一の物を造る場合、入札による一括発注ではなく業者支援の立場から随意発注することなどは出来ないのか。 (6) 小規模修繕登録者制度をつくれれば、制度の中身からして、より地元零細業者に仕事を回すことが出来ると思うが見解は。

順序	質問者	質問事項	要 旨
6	8番 岡部 淳一	3. 町民から寄せられた声に真摯に対応しているのか (答弁者：町長)	(1) 役場庁舎の塗装工事に関する町民からの声を、町長に申し入れしたが、3カ月過ぎても何の報告もない。申し入れはどう扱われたのか、町の対応を伺います。
7	6番 佐藤 一夫	1. 消防団の組織改編による成果と課題について (答弁者：町長)	(1) 組織改編が、消防団員によく理解され、機能してきているのか。 (2) 組織改編によって、どのような成果が見られたのか。 (3) 若者の減少や職業の多様化による団員の確保は、困難を増すものと予想されるが、どう対策を講ずるのか。また、定数についての考えは。 (4) 地域社会における自治体消防は必要不可欠ですが、過疎化・高齢化の中で、今後の消防組織の維持とあり方、また災害発生時の対応について、どのような考えを持っているのか。
		2. 町道松久保・鵬巣線の改良について (答弁者：町長)	(1) 町道松久保・鵬巣線は、山上・論田地区の住民にとって非常に重要な生活道路であり、町でも改良工事や支障木対策などを実施して道路整備に努力してきました。今後、統合小学校におけるスクールバス運行の路線でもあり、安全性の確保からS字カーブの改良が強く望まれるが、町長の見解を伺う。
		3. 町の活性化に、民間活力がどう生かされているのか (答弁者：町長)	(1) 過疎化の進行により、将来の不安が取り沙汰されている中で、町民誰も活力ある町にしたいとの思いがある。町もソフト・ハード両面で活性化策を打ち出しているが、成果を得ることが難しいこともあります。 地域の振興・活性化は、官民一体による相互理解と地道な取り組みが不可欠と考え、町民の力をどのように生かし、具体的な取り組みをされていくのか所見を伺う。